

相模原芸術家協会の作家たち 第2期

2022年1月15日（土）—2月22日（火）

- 会場 相模原市民ギャラリー アートスポット
- 時間 9:00—17:00
- 休館日 毎週水曜日
- 観覧料 無料

展示概要

相模原にゆかりのある画家などを紹介するミニ展示コーナー・アートスポットの「ギャラリースタッフセレクション」。前回に続き、相模原芸術家協会の所属作家の作品を紹介します。

市内在住のプロの芸術家によって構成される相模原芸術家協会。1991年の創立以来、長年にわたり相模原の芸術文化の発展を牽引してきました。今日に至るまでに、本市の美術史を語るうえで欠かせない存在である、日本画家の吉川啓示氏や彫刻家の陶山定人氏が歴代会長を務めるなど、様々な作家たちが同協会でも活躍してきました。

今回は、30周年を迎えた同協会でも、現在所属している作家の中から7名の多彩な作品を展示します。それぞれの作家が持つ、多様な表現方法に注目していただければ幸いです。

（※本展は、全2回の後半の展示となります）

出品作家（第2期）

手塚廣子 中西晴世 中村春日 秦加奈子 原田敬一 門間由佳 山本恭子（50音順）

相模原芸術家協会とは

相模原の芸術文化の発展を目的に、市内在住のプロの芸術家によって設立された美術協会。毎年の会員展に加え、絵画講座やこどもセンターでのワークショップの実施、さらに、友好都市の芸術家と国際交流展を開催するなど、相模原の芸術文化の振興に大きく貢献してきました。

現会長の上條陽子氏をはじめ、副会長の成田禎介氏や細谷玉江氏など、現在も40名の作家が所属し、活躍を続けています。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、展示内容や会期等が変更になる場合があります。

問合せ先
相模原市民ギャラリー
042-776-1262
担当 竹内